

ユリテイサービス、快適な住空間づくりなど、住戸引き渡し段階では現場見学会や管理組合設立パーティー、アフター段階ではアフターサービスや物件の定期巡回、購入者宅への訪問、各種勉強会などに取り組み。3段階の流れを「気づきのサイクル」と名付け、CS向上活動を推進するほか、商品・サービス基準を「5つのこだわり」として、「利便性にこだわった立地」「安心・安全を実現する品質」「快適な空間」「環境との共生」「きめ細やかなサービス」を示した。

◎日本財託、ワンルームの空室期間が短縮

日本財託が管理を行っているワンルームマンションを対象にまとめた「賃貸実績レポート」(期間13年10月～14年9月)によると、同社が管理する東京23区内のワンルームマンションの平均空室期間(解約から賃料発生前日までの期間)は29・7日となり、前年比2・2日短縮、2年前と比べ5日短縮した。

空室期間が短縮している理由について同社は、都心の駅に近い立地である点や単身世帯数の増加を挙げている。法人契約をしている企業の中には、木造アパートを社宅として認めている企業もある。そのため、特に東日本大震災以降は、RC造という点もワンルームマンションの入居需要が高まっている理由の1つとしている。賃貸実績レポートによると、13年10月～14年9月までの1年間で同社が賃貸契約を締結した件数は3596件。このうち外国籍の契約者数は606件と、16・8%を占めた。平均成約賃料は前年比752円増の7万3393円。

◎積水化学、JKKが記念シンポを開催

積水化学工業住宅カンパニーの調査研究機関である住環境研究所(JKK)は、若手・中堅社員を教育す